

高野参詣登山

世界遺産拡大登録の審議へカウントダウン

くろこみち

《健脚・中級向き》

国史跡黒河道トレッキング 約19キロ

と久保小の桜

※標高差 850m。一部に道幅が狭いなど、歩行に注意を要する箇所があります。少雨決行。当日 6:00 現在で、現地に気象警報が発表されている場合は中止します。

平成28年 4月9日(土)

集合：JR・南海橋本駅前 8時10分

解散：高野町役場前 16時00分

参加費：500円 当日払い(傷害保険料・資料代として)

平成27年10月に国史跡指定された高野参詣道で高野七口のひとつ黒河道を歩き、橋本から峠越えを重ねて高野山に向かいます。例年では昼休憩の久保小学校の桜が見頃の時期です。(小雨決行)

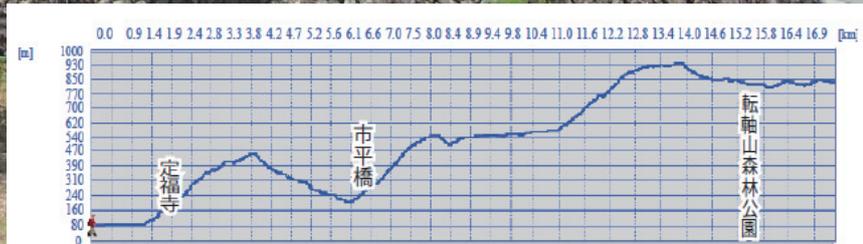
黒河道(くろこみち)

黒河川に至る高野参詣道で、大和国(奈良県)からの参詣客が利用することから、大和回とも呼ばれた。橋本(和歌山県橋本市)からの近道とされる。文禄3年(1594)3月、豊臣秀吉が高野参詣の帰途、この道を用いたことが『紀伊続風土記』(にみえ、秀吉が高野下山の際、千手院回から銅嶽(雪池山)の北を通って、久保村・市平村を経て、丹生川を渡り、わらん谷から明星が彎(たわ)を越え、紀の川を渡って橋本町へ出たとの経路が記される。当時、天下人であった秀吉が利用した道であり、主要な高野参詣道の一つであったことがうかがえる。

世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の拡大登録

政府は2016年1月27日(パリ時間)に登録範囲の変更提案書をユネスコ世界遺産センターへ提出。I COMOSによる評価・審査が行われ、5月末から6月初旬に勧告(承認・情報照会・不承認・不承認の場合、申請取り下げもある。)を行ったのち、7月10日から20日にかけての第40回世界遺産委員会(トルコ・イスタンブール)において審議・承認されることを目指す。

久保小学校 平成25年4月13日撮影



主催 高野七口再生保存会
共催 黒河の会・橋本観光ガイドの会
協力 応其寺・定福寺・高野口文化財研究会
(順不同) ふるさとの山に花をの会

問合せ：高野七口再生保存会 TEL: 070-2614-9671

Eメール: kmrsiri@ares.eonet.ne.jp

